

岡山大学 物理談話会

日時：2011年11月25日（金） 16：30－17：30

場所：理学部 コラボレーション棟3Fコラボレーション室

講師：高エネルギー加速器研究機構
長谷川雅也氏

タイトル「QUIET実験の初期観測結果」

宇宙がどの様に誕生し、進化して来たかという謎は現代科学が抱える最大の謎の一つです。その謎に答える最も有望な説として、宇宙が誕生直後に急激膨張したとするインフレーション理論が提唱されていますが、いまだ直接的な実験証拠はありません。近年、インフレーション時に生成される重力波の痕跡が宇宙背景放射(CMB)の偏光パターンを通して、観測できるという可能性が提案され、この世紀の大発見を目指して世界中で多くの実験が計画、実行されています。QUIET実験もその中の一つで、南米チリアタカマ高地(標高5千メートル)で2年半におよぶ観測を行ってきました。本講演ではその初期結果を報告すると共に、2007年に高エネルギー加速器研究機構に新しく誕生したCMB偏光観測グループの活動と将来計画について紹介します。

連絡先：理学部物理学科 石野（内線7818）